

東歌（あずまうた）

代表歌

夏麻引く なつそび 海上瀉の うなかみがた 沖つ洲に す 船はとどめむ さ夜更けにけり（14-3348）

筑波嶺に つくばね 雪かも降らる 否 いな をかも 愛 かな しき見ろが 布乾 ふのほ さらかも（14-3351）

多摩川に たまがわ さらす手作 つく り さらさらに 何 なん その児 こ の こ こ だ愛 かな しき（14-3373）

信濃路は しんろう 今の壑 はりみち 道 みち 刈株 かりばね に 足踏 あしふみ ましなむ 履 くつ はけわが背 せ（14-3399）

信濃なる しんろう 千曲の川の ちまがは 細石 かわいし も 君 きみ し踏 ふみ みてば 玉 たま と拾 ひろ はむ（14-3400）

稲 いね つけば かかる吾 あ が手 て を 今夜 こんや もか 殿 どの の若子 わかくし が 取 と りて嘆 なげ かむ（14-3459）

鳥 とり とふ 大 おほ をそ鳥 どり の まさでにも 来 き まさぬ君 きみ を ころくとぞ鳴 な く（14-3521）